

掛川市の発展を

桜が丘中学校



つちや ゆりこ  
土屋百合子 議員 (右)  
ごとう ゆうき  
後藤優貴 議員 (左)

**Q** 市の発展のために人口や若者を増やすことが重要であると考えます。大学を建てたり、大型ショッピングモールを建てたり、こだま以外の新幹線が止まったり、人を呼べる工夫はできないか。

**A** これらの方法は、若者や人口を増やすためによい方法だと考えています。掛川市だけでは実現できませんので、実現に向けての検討や話し合いを重ねているところです。若者や子育て世代を主なターゲットとして積極的な情報発信を行い、全国の方に掛川市に興味を持ってもらうことに、今、最も力を入れています。

【その他の質問事項】  
・勉強に集中できる環境づくり

掛川市の交通は

城東中学校



まえほり あやか  
前城彩花 議員 (右)  
まえしま そうた  
前嶋颯太 議員 (左)

**Q** 自主運行バスが運行しているが、なぜ掛川駅周辺だけで、旧大東町の方はあまりバスが走らないのか。困っている高齢者や利用したい市民の方はたくさんいると考えます。もっと便利な街づくりを求めるが、市はどのような対策を考えているか伺う。

**A** バス路線を維持しながら、さらに路線を増やすには、運賃収入を増やし、運行経費が少なくなるよう効率性が重要となります。鉄道や路線バス、自主運行バス、デマンド型乗合タクシー等の連携をより一層高め、地域、交通事業者、行政が一体となって取り組むことで、掛川市の公共交通の維持・活性化を図ってまいります。

【その他の質問事項】  
・南海トラフ地震への備えについて  
・中学校部活動の活性化につながる施策について

南海トラフ巨大地震の避難は

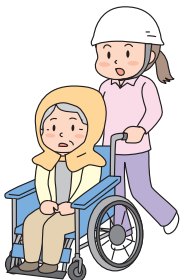
大須賀中学校



いとう りの  
伊藤理乃 議員 (右)  
いのうえ るく  
井上瑠久 議員 (左)

**Q** 南海トラフ巨大地震が起きた場合、避難所において、乳幼児や小学生、障がい者や高齢者への配慮が必要となると考えるが、市長の考えを伺う。

**A** 42か所の広域避難所において自主防災会と掛川市が協働で作成した「広域避難所運営マニュアル」には、乳幼児や障がい者、高齢者などの「要配慮者専用スペース」の設置などに配慮することを明記しています。また、広域避難所での生活が困難な要配慮者のため、「福祉避難所」を市内に44か所準備しています。



いじめをなくすための取り組みを

原野谷中学校



こばやし ゆうた  
小林祐太 議員 (右)  
かたぎり なな  
片桐菜花 議員 (左)

**Q** 「いじめに対する行動宣言」を更によいものにするために改善しようと考えている。どのように改善したらよいかアドバイスを伺う。

**A** すばらしい宣言ですので、改善の必要はないかと思いますが、あえてあげるならば「寛容」や「受容」といった相手の存在を認め、尊重する要素が入ってほしいかもしれません。学校のみならず改善点について話し合い、原野谷中学校ならではのよりよい宣言をつくりあげ、実行して欲しいと思います。

